

与格構文

意味上の主語、あるいは動作・状態の結果が及ぶ対象に後置詞 को を添えて、人格の意志や力の及ばない、感情、生理的な現象、嗜好、状況、事態、また行為の結果や影響などを表現する特徴的な構文を、与格構文と呼びます。

1. 与格＋主語＋コピュラ動詞

① 感情や事態を表します。

यह खबर सुनकर हमें बड़ी खुशी हुई। この知らせを聞いてぼくらはとても嬉しかった。

तुम्हारी इन्हीं हरकतों से तुम्हारे माँ-बाप को कितनी परेशानी हुई थी। おまえのこの仕業のせいで、ご両親がどんなに苦しんだか。

मोहन को इसलिए गुस्सा आया कि किसीने भी उसकी ओर ध्यान नहीं दिया था। モーハンが怒ったのは、誰も彼のことに注目しなかったからだ。

② 嗜好を表します。

हम सब को मिठाइयाँ बहुत पसंद हैं। あたしたちみんな、お菓子が大好き。

आपको क्या पसंद है, चाय या काफ़ी? あなたはお茶がお好きですか、それともコーヒーですか?

③ 生理的な現象を表します。

मुझे बुखार है। ぼくは熱がある。

उसको पेट में दर्द है। 彼女は腹痛がしている。

मेरी तबीयत ठीक नहीं है, शायद मुझे जुकाम हो गया है। 気分が悪い。たぶん、かぜをひいたんだ。

2. 与格＋主語＋動詞

動詞 मिलना を用い、「(与格)にとって(主語)が得られる」すなわち「(与格)は(主語)を得る」という取得を表します。

हमें बड़ा सुख मिला। 私たちはとても幸せだった。

सोहन बेटा, आज तुम्हें इनाम मिल जाएगा। ソーハンや、今日は褒美がもらえるよ。

3. 与格＋主語＋形容詞＋動詞

- ① 形容詞 मालूम 「知られている」とコピュラ動詞 होना を用いて、「(与格)に(主語)が知られている」すなわち「(与格)は(主語)を知っている」という認知を表します。

मुझे मालूम है कि आपने मेरी कितनी सहायता की है। **あなたがどんなに私を助けてくれたか私は承知しています。**

- ② 動詞 लगना を用い、「(与格)にとって(主語)が～に思われる」すなわち「(与格)は(主語)を～だと思おう」という感覚を表します。

हिंदीवालों का कहना लोगों को अच्छा न लगा। **ヒンディー語論者の主張はみんなには不愉快であった。**

4. 与格＋主語＋ चाहिए

「(与格)にとって(主語)が必要である」という文になります。 चाहिए はふつう無変化です。

आपको क्या चाहिए? **何がご入用ですか? (店の主人が客に向かって)**

※以下、動詞の不定詞形を用いる構文では、不定詞が他動詞の場合、その目的語に性・数を一致することに注意してください。

5. 与格＋動詞(不定詞形)＋ चाहिए

चाहिए に先立つ部分に不定詞を置いて、「(与格は)～することが必要だ」「(与格は)～しなければならない」という義務を表します。

परीक्षा में उत्तीर्ण होने के लिए हमें इस वक़्त क्या करना चाहिए? **試験に合格するためにはわれわれは今何をすべきか。**

हम सब को और मेहनत करनी चाहिए। **ぼくらはもっと努力をすべきだ。**

6. 与格＋動詞(不定詞形)＋コピュラ動詞

不定詞の後にコピュラ動詞 होना が続けば、必要性や予定を表します。

कल मुझे दफ़्तर में जाना होगा। **明日、私は入社することになるだろう。**

7. **与格+動詞(不定詞形)+पड़ना**

不定詞の後に動詞 पड़ना が続けば、やむを得ない必要性や強制されることを表します。

आज मैं आपसे ज़रूर पूछूँगी और आपको भी मेरे सवाल का जवाब देना ही पड़ेगा। 今日こそあなたにおたずねします、あなたも返事をしないですみませんよ。

8. **与格+動詞(不定詞形)+動詞**

不定詞の後に動詞 आना が続けば、身についた能力を表します。

उसे तैरना आता था इसलिए वह बच गया। 彼は泳げたので助かった。

आपको कितनी ज़बानें बोलनी आती हैं? あなたは何ヶ国語話せるのですか?